

少人数だから、豊幌だからできる創意ある学校づくり

江別市立豊幌小学校長 悪 七 広 仁

豊幌小学校の校区は、江別市の東端に位置し、東は岩見沢幌向、南は南幌町と隣接しています。石狩川、夕張川、幌向川が流れ、豊かに広がる田畑と閑静な住宅街が織りなす景観が美しい地域です。

本校の目指す子ども像を「知恵を出し合い、支え合い、最後までやりぬく、たくましい豊幌っ子」とし、今年度の重点指導目標を「今までの本校の取組を継続しつつ、活動を通じて表現力に磨きをかける」としました。

これまで研究を通じて培ってきた話し合い活動や説明の仕方などは、教職員の共通指導事項となり、自分の考えを深めたり、広げたりするなどの成果を上げてきました。また、教室を空ける際に机を揃える・机の上をきれいにする・椅子を中に入れる、靴を揃えて並べるなど、学習規律や規範意識が子どもたちに定着し、子どもが思い切り学習に向かう基盤が整っています。今年度はこれらを基に、活動（授業、特別活動、学校行事等）を通して表現力を磨くことが目標です。

子どもたちは、本校卒業し他校の小学生と一緒に中学校へ進みます。また、いずれは豊幌を出て社会で生きていきます。外国人とも対等に付き合っていかなければなりません。自分なりの考えを持ち伝え合うこと、いろいろな人と支え合って生きていくなどのコミュニケーション能力を身に付けることが必須です。重点指導目標の達成を目指し、このような力を身に付けさせたいと考えます。

感染症対策を講じ、子どもの安心・安全を第一にした中で、「少人数だから、豊幌だからできる、創意ある学校づくり」に努めます。よろしくお願いいたします。